

腎臓内科

《概要》

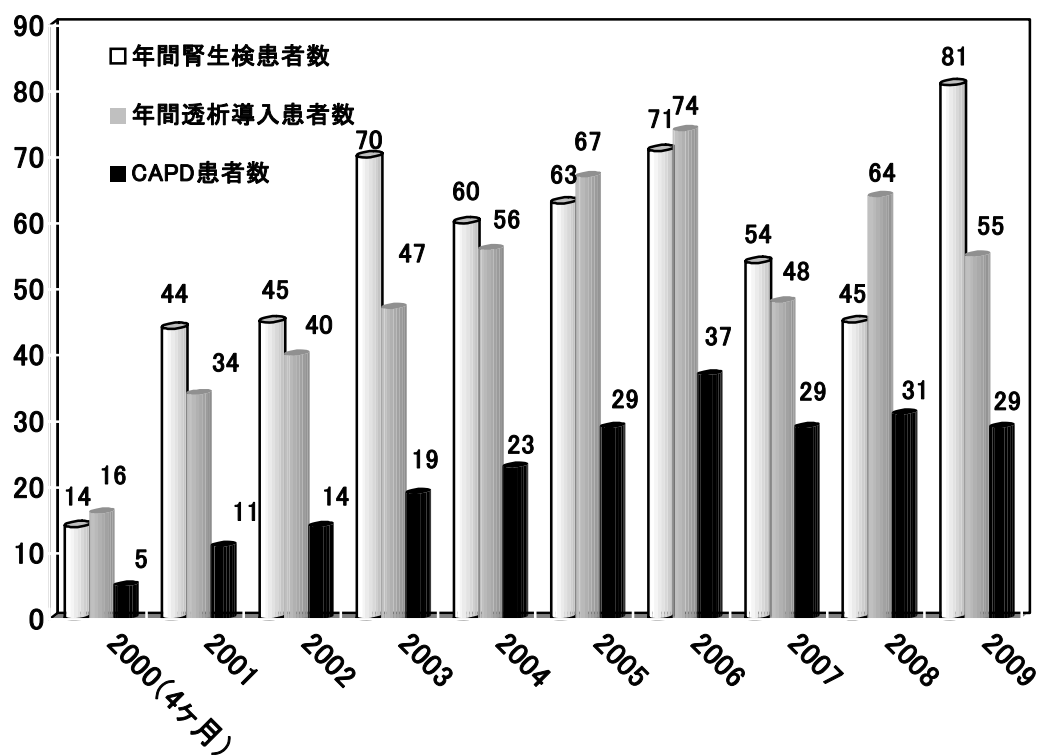
腎臓内科は2000年9月に内科腎臓部門から出発し、その専門性・独立性から2004年1月に腎臓内科が開設された。スタッフは開設当初の1人から徐々に増員され2007年4月には4人体制となり、腎臓内科として充実した診療体制となった。今後も腎疾患診療において地域にとどまらないブランド的役割を担えるよう、診療・学術研究・教育などあらゆる方面に全力で取り組む考えである。

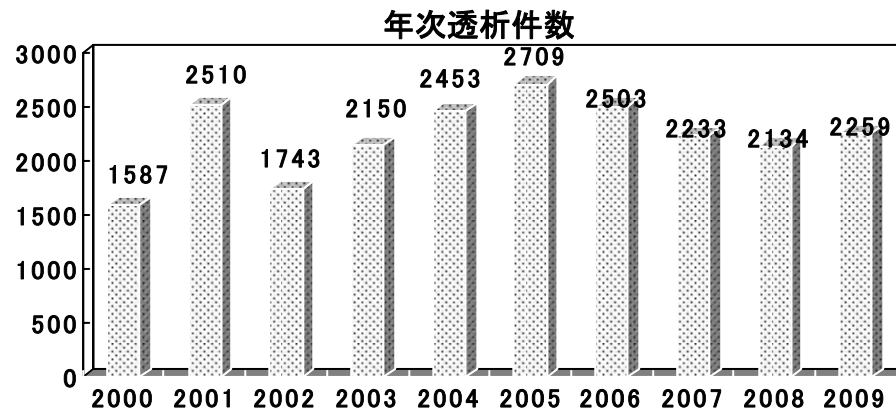
なお当科スタッフは大阪大学医学部老年腎臓内科より派遣されており、大阪大学老年腎臓内科の重要な関連病院として位置づけられている。

《実績》

年2回の医師会との勉強会を通して病診・病々連携が充実し、腎臓専門医への早期紹介の必要性・重要性が浸透しつつある。腎生検数・透析導入患者数(CAPD患者数)・入院患者数は年々順調に増加したが、2007年は周辺地域の医療崩壊の結果として、近隣市民病院からの病々連携が著減したため患者数が激減した。しかしその後患者数は回復傾向にある。

血液浄化センターにおいて実施された透析件数については、透析ベッド数11床ならびに看護師5名、臨床工学技士2名を考慮すれば、2500～2800件/年程度は可能と考えられ、その意味でこの数年間は目標に近い数字となっている。





《業績》 2009.4.1～2010.3.31

当科は診療活動だけでなく、多くの臨床研究や治験を実施しており、学術活動を積極的に展開している。また、それらの結果を論文として発表しており、最近では欧米の雑誌への掲載も増加している。さらに教育講演や座談会などへの招聘は、当科が腎疾患診療においてオピニオンリーダーとして評価されつつある証であり、今後さらに業績をつみあげ、さらなるブランド化を推進するつもりである。

(1) 原著、総説、著書 (2009.4～2010.3)

番号	整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1		腎障害患者に対する造影剤使用について	林 晃正	CLINICIAN	56	4-6	2009
2		Exercise-induced acute kidney injury with reversible posterior leukoencephalopathy syndrome	Kimura T. Ito K. Imai E. Rakugi H. Isaka Y. Hayashi T.	Clin Exp Nephrol	14	173 - 175	2010
3		一年間の腹腔洗浄後、テンコフカテーテル抜去と同時に施行した腹腔鏡下腹膜生検直後に小腸穿孔を起こし、被嚢性腹膜硬化症へ進展した腹膜透析歴 16 年の症例	佐々木公一 安田圭子 小尾佳嗣 林 晃正 水野均 榎山紀幸 岸本朋也 伊豆蔵正明	大阪 CAPD 研究会会誌	22	30 - 34	2009
4		テンコフカテーテル挿入時に腹腔鏡にて潜在する左鼠径ヘルニアを診断し治療し得た1例	林 晃正 小尾佳嗣 木村友則 佐藤壽浩 友国 晃 岡澤美佳 水野 均	腎と透析 別冊 腹膜透析 2009	66	503 - 506	2009
5		症例にみる貧血管理の実際 1)保存期 2)導入期 3)腎性貧血治療により心機能が改善した症例	林 晃正	腎性腎臓病(CKD)に伴う貧血		266 - 280	2009
6		検査結果が読める！患者指導に生かす！ 「透析患者の検査と検査値」 ホルター心電図、心エコー検査	林 晃正	透析ケア	夏季増刊号	198 - 212	2009
7		慢性透析患者の導入と管理	林 晃正	腎臓内科レジデントマニュアル 改訂第5版		274 - 308	2010

著者	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
8	Impact of age and overt proteinuria on chronic kidney disease outcomes in a referred cohort	Yoshitsugu Obi Tomonori Kimura Yasuyuki Nagasawa Keiko Yasuda Koichi Sasaki Harumi Kitamura Enyu Imai Hiromi Rakugi Yoshitaka Isaka Terumasa Hayashi	Clin J Am Soc Nephrol	In press		2010
9	腎臓専門医初診時ヘモグロビン値が腎予後予測因子となりうるかについての検討	林 晃正 安田圭子 佐々木公一 小尾佳嗣	第 17 回腎とエリスロポエチン研究会 Proceedings		27 - 31	2010

(2) 学会研究会報告 (2009.4~2010.3)

著者	演題	発表者	学会・研究会名	年月日
1	Screening, diagnosis and intervention of asymptomatic coronary artery disease at the time to start renal replacement therapy is associated with remarkably better life expectancy in diabetic nephropathy patients on dialysis	Terumasa Hayashi Koichi Sasaki Keiko Yasuda Yoshitsugu Obi Yoshiro Takeda Yoshiyuki Nagai Tomonori Kimura Yoshitaka Isaka Enyu Imai Hiromi Rakugi	XX World Congress of Nephrology 2009 / XLVI Congress of ERA-EDTA Milan	2009. 5. 22-26
2	Nephrological care improves the prognosis of patients with chronic kidney disease stage 3-5	Yoshitsugu Obi Tomonori Kimura Koichi Sasaki Keiko Yasuda Terumasa Hayashi	XX World Congress of Nephrology 2009 / XLVI Congress of ERA-EDTA Milan	2009. 5. 22-26
3	The long-term prognostic implications of chronic kidney disease and contrast-induced acute kidney injury after coronary artery angiography	Tomonori Kimura Yoshitsugu Obi Keiko Yasuda Yoshihiro Takeda Yoshiyuki Nagai Yoshitaka Isaka Enyu Imai Hiromi Rakugi Terumasa Hayashi	XX World Congress of Nephrology 2009 / XLVI Congress of ERA-EDTA Milan	2009. 5. 22-26
4	腎専門医を受診した慢性腎臓病患者の予後に関する検討	小尾佳嗣 佐々木公一 安田圭子 林 晃正	第 52 回日本腎臓学会学術総会 横浜	2009. 6. 3-5
5	透析前慢性腎臓病患者における脳性ナトリウム利尿ペプチド(BNP)と腎機能予後についての検討	安田圭子 佐々木公一 小尾佳嗣 木村友則 林 晃正	第 52 回日本腎臓学会学術総会 横浜	2009. 6. 3-5
6	The incidence and short-term outcomes of contrast-induced acute kidney injury in stable and unstable population after coronary artery angiography	木村友則 小尾佳嗣 安田圭子 猪阪善隆 今井圓裕 楽木宏実 林 晃正	第 52 回日本腎臓学会学術総会 横浜	2009. 6. 3-5
7	糖尿病性腎症患者の透析導入時における無症候性心筋トロポニンT(cTnT)異常高値例の検討	林 晃正 佐々木公一 安田圭子 小尾佳嗣	第 52 回日本腎臓学会学術総会 横浜	2009. 6. 3-5
8	2種の低浸透圧性造影剤, iomeprol と Iopromide の造影剤腎症発症頻度の比較検討	佐々木公一 安田圭子 小尾佳嗣 木村友則 林 晃正	第 52 回日本腎臓学会学術総会 横浜	2009. 6. 3-5
9	糖尿病性腎症患者に対する透析導入期の積極的心疾患スクリーニングによる生命予後改善効果についての検討	林 晃正 佐々木公一 安田圭子 小尾佳嗣 木村友則	第 54 回日本透析医学会学術総会 横浜	2009. 6. 5 - 7
10	多剤耐性 Corynebacterium spp.による出口部感染の治療直後に腹膜炎を発症した1例	小尾佳嗣 佐々木公一 安田圭子 林 晃正	第 54 回日本透析医学会学術総会 横浜	2009. 6. 5 - 7

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
11	透析前慢性腎臓病患者における脳性ナトリウム利尿ペプチド(BNP)と透析導入後生命予後についての検討	安田圭子 佐々木公一 小尾佳嗣 林 晃正 木村友則	第 54 回日本透析医学会学術総会 横浜	2009. 6. 5- 7
12	テノコフカテーテル抜去時の腹腔鏡下腹膜生検施行後に小腸穿孔を起こし、EPS への進展を認めた腹膜透析歴 16 年の症例	佐々木公一 安田圭子 小尾佳嗣 林 晃正 水野 均 檜山紀幸 岸本朋也 伊豆蔵正明	第 54 回日本透析医学会学術総会 横浜	2009. 6. 5- 7
13	Atypical HUS(D-HUS)を反復した 14 歳男児の一症例	安田圭子 佐々木公一 畑中雅喜 日高義彦 畑中道代 北野悦子 北村 肇 藤村吉博 松本雅則 小尾佳嗣 木村友則 林 晃正	第 30 回日本アフェレーシス学会	2009. 9. 10-12
14	塩酸ピルジカイド誘発性の心室頻拍および Brugada 型波形を呈した維持血液透析患者の一例	森本正昭 安田圭子 佐々木公一 畑中雅喜 林 晃正 武田吉弘 永井義幸	第 73 回大阪透析研究会	2009. 9. 13
15	腎内石灰化ならびに腎機能低下を認めた原発性アルドステロン症の一例	安田圭子 佐々木公一 畑中雅喜 久原とみ子 三好憲雄 小尾佳嗣 木村友則 林 晃正	第 58 回大阪腎疾患研究会中ノ島センター	2009. 9. 18
16	腎石灰化症を伴った原発性アルドステロン症の一例	安田圭子 佐々木公一 畑中雅喜 久原とみ子 三好憲雄 小尾佳嗣 木村友則 林 晃正	第 39 回日本腎臓学会西部学術大会 和歌山	2009. 10. 16-17
17	急速進行性糸球体腎炎を呈した HIV 腎症の一例	畑中雅喜 佐々木公一 安田圭子 小尾佳嗣 林 晃正	南大阪における HIV 感染症診療の充実をめざす研修会 堺	2009. 10. 24
18	Comparison of nephrotoxicity between two low-osmolar contrast mediums (LOCMs) with different viscosity: iomeprol, the lowest viscosity LOCM versus iopromide, the second highest viscosity LOCM.	Koichi Sasaki Keiko Yasuda Masaki Hatanaka Tomonori Kimura Terumasa Hayashi	The 42nd American Society of Nephrology, San Diego	2009. 10. 29-11. 1
19	B-Type natriuretic peptide at the time of referral to predict the renal outcome in kidney disease (CKD) patients not on dialysis.	Keiko Yasuda Koichi Sasaki Masaki Hatanaka Yoshitugu Obi Tomonori Kimura Terumasa Hayashi	The 42nd American Society of Nephrology, San Diego	2009. 10. 29-11. 1
20	The heterogeneity of patients with advanced chronic kidney disease	Yoshitsugu Obi Tomonori Kimura Keiko Yasuda Koichi Sasaki Hiroki Omori Yasuyuki Nagasawa Yoshitaka Isaka Hiromi Rakugi Terumasa Hayashi	The 42nd American Society of Nephrology, San Diego	2009. 10. 29-11. 1
21	造影後急性腎障害と慢性腎臓病が冠動脈造影後の長期予後に及ぼす検討	木村友則 小尾佳嗣 安田圭子 佐々木公一 猪阪善隆 楽木宏実 林 晃正	Japan AKI Summit 東京	2009. 11. 8
22	粘度の異なる低浸透性造影剤(LOCM)における造影剤腎症(CIAKI)の発症頻度、および長期予後の検討	佐々木公一 安田圭子 畑中雅喜 林 晃正	Japan AKI Summit 東京	2009. 11. 8
23	慢性腎臓病と造影後急性腎臓病が冠動脈造影後の長期予後に及ぼす影響の検討	木村友則 小尾佳嗣 安田圭子 佐々木公一 楽木宏実 猪阪善隆 林 晃正	第 10 回腎不全病態治療研究会 東京	2009. 12. 12

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
24	微小変化型ネフローゼ症候群(MCNS)に合併した急性腎不全に対し血液透析を要した1例	畑中雅喜 佐々木公一 安田圭子 林 晃正	第73回大阪透析研究会	2010.3.14
25	血液透析(HD)導入1か月後に上腸間膜動脈(SMA)閉塞症をきたした一例	安田圭子 佐々木公一 畑中雅喜 林 晃正	第73回大阪透析研究会	2010.3.14
26	Peripheral artery disease as a strong predictor of death in patients with advanced chronic kidney disease	Yoshisugu Obi Tomonori Kimura Keiko Yasuda Koichi Sasaki Hiroki Omori Yasuyuki Nagasawa Yositaka Isaka Hiromi Rakugi Terumasa Hayashi	The 42nd American Society of Nephrology, San Diego	2009.10.29-11.1

(3) 学術講演 (2009.4~2010.3)

番号整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
1	慢性腎臓病(Chronic Kidney Disease, CKD)の対策「CKDを治す、進行を抑える、透析になっても元気で長生きする」方法	林 晃正	平成21年度 市民健康講座 市立泉佐野病院	2009.5.16
2	CAPD 関連合併症	林 晃正	Baxter CAPD 講座 大阪	2009.6.21
3	造影剤腎症の現状	林 晃正	第15回日本血管内治療学会総会 ランチョンセミナー 東京	2009.7.3
4	糖尿病腎症に対する治療戦略	林 晃正	第一三共研修会	2009.7.6
5	臨床現場における糖尿病性腎症管理の実際	林 晃正	泉佐野泉南医師会講演会 大阪	2010.1.28
6	Prevention of contrast induced nephropathy from a nephrologist's viewpoint	Terumasa Hayashi	Complex Cardiovascular Therapeutics 2010	2010.1.28
7	循環器疾患の腎機能評価と治療戦略 —心腎連関と心腎連携—	林 晃正	第74回日本循環器学会総会・学術集会 ランチョンセミナー 京都	2010.3.5
8	糖尿病患者の透析療法 —透析導入時の病態・および冠動脈狭窄の評価と長期予後—	椿原美治 林 晃正	糖尿病学の進歩 大阪	2010.3.7

(4) 院内研究活動 (2009.4~2010.3)

番号整理	演 題	発 表 者	年 月 日
1	肺炎に腎機能低下、血小板減少を伴った14歳男児の一症例	安田圭子	2009.5.21
2	第153回りんくうカンファレンス HUS(溶血性尿毒症症候群)/TTP(血栓性血小板減少性紫斑病)の病態と治療	林 晃正	2009.5.21